

# 呉港港湾計画資料

— 軽易な変更 —

平成15年 2月

呉港港湾管理者

# 目 次

I. 変更理由	1
II. 港湾施設の規模及び配置に関する資料	2
1. ふ頭計画	2
1-1 公共ふ頭計画	2
1-2 フェリー及び旅客船ふ頭計画	3
2. 小型船だまり計画	5
III. 土地造成及び土地利用計画に関する資料	8
1. 土地造成及び土地造成に係る土地利用計画	8
IV. その他の資料	9
1. 資金計画	9
2. 環境保全に関する検討	9
3. 地方港湾審議会名簿	10

## I. 変更理由

1. 船だまり利用者の利便性の向上を図るため、阿賀マリノポリス地区の小型船だまり計画を削除し、阿賀塩谷地区において、小型船だまり計画を追加する。
2. 小型船だまり計画の追加、削除に伴い、阿賀マリノポリス地区において、公共ふ頭計画の変更、フェリー及び旅客船ふ頭計画の追加、削除、並びに土地造成及び土地利用計画の追加、削除、変更を行う。

## II. 港湾施設の規模及び配置に関する資料

### 1. ふ頭計画

#### 1-1 公共ふ頭計画

##### (1) 公共ふ頭計画

###### ① 公共ふ頭の現況

今回の計画変更に係る公共ふ頭の主要取扱貨物等の利用状況は、次のとおりである。

表II-1-1 公共ふ頭の利用状況 (平成14年)

ふ頭名	施設諸元	主要取扱貨物等	その他定期航路	備考
阿賀マリノ ポリスふ頭	-7.5m×260m(2B) ふ頭用地 7.6ha			工事中

###### ② 公共ふ頭計画の変更の必要性

フェリーふ頭計画の追加、削除に伴い、工事中のふ頭用地7.6haのうち、0.7haをフェリーふ頭用地に転換する。

###### ③ 公共ふ頭の規模

ふ頭用地の面積は、次のとおりである。

表II-1-2 ふ頭用地面積

地区名	水深	バース数	延長	ふ頭用地面積	ふ頭用地面積の考え方
阿賀マリノ ポリス地区	-7.5m	2バース	260m	6.9ha	コンテナ及び一般貨物の取扱を考慮し、背後にコンテナヤード及び荷捌地用地を設ける。(エブロン 0.5ha、コンテナヤード及び荷捌地等 6.4ha)

## 1-2 フェリー及び旅客船ふ頭計画

### (1) フェリーふ頭計画

#### ① フェリーふ頭の現況

フェリーふ頭の既定計画は、次のとおりである。

表Ⅱ-1-3 係留施設計画

地区名	区分	対象船型	航路	施設	バース数	水深	摘要
阿賀マリノポリス地区	フェリー	1000G/T	阿賀～堀江	ドルフィン (公共)	1	-4.5m	
	旅客船	8G/T	阿賀～情島				

表Ⅱ-1-4 土地利用計画内訳

地区名	施設名	面積(ha)	摘要
阿賀マリノポリス地区	旅客ターミナル	0.2	施設北側が小型船だまりであるため、緩衝緑地を確保 臨港道路阿賀マリノポリス1号線沿いに緑地を確保
	駐車場	0.5	
	緑地	0.8	
計		1.9	連絡通路等0.4haを含む

#### ② フェリーふ頭の必要性

小型船だまり計画の削除に伴い、フェリーふ頭計画を追加、削除する。

#### ③ フェリーふ頭の規模の検討

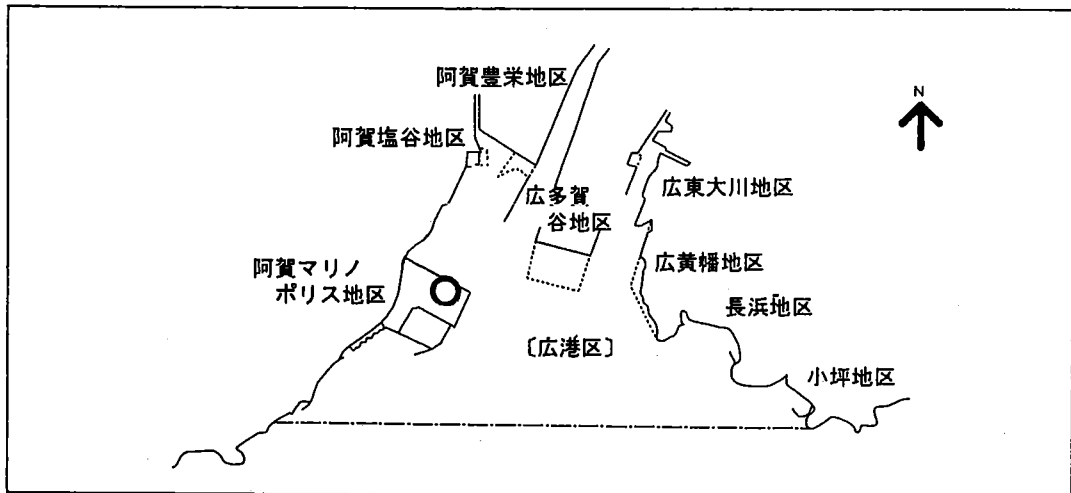
フェリーふ頭の規模の考え方は、次のとおりである。

表Ⅱ-1-5 フェリーふ頭の規模

施設名	面積(ha)	摘要
旅客ターミナル	0.2	既定計画のとおり
駐車場	0.5	
計	0.7	

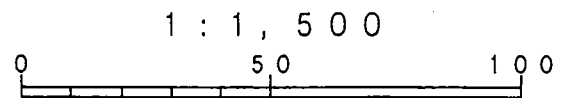
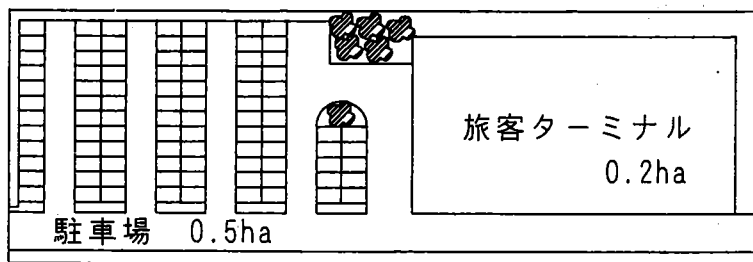
④ フェリーふ頭の配置の検討

阿賀灘船だまり（漁船）計画の削除にともない、フェリーふ頭の配置を図Ⅱ-1-1に示すとおり変更する。



↓ 〔拡大図〕

臨  
港  
道  
路  
阿  
賀  
マ  
リ  
ノ  
ポ  
リ  
ス  
2  
号  
線



図Ⅱ-1-1 阿賀フェリーふ頭利用構想図

## 2. 小型船だまり計画

### (1) 漁船の隻数

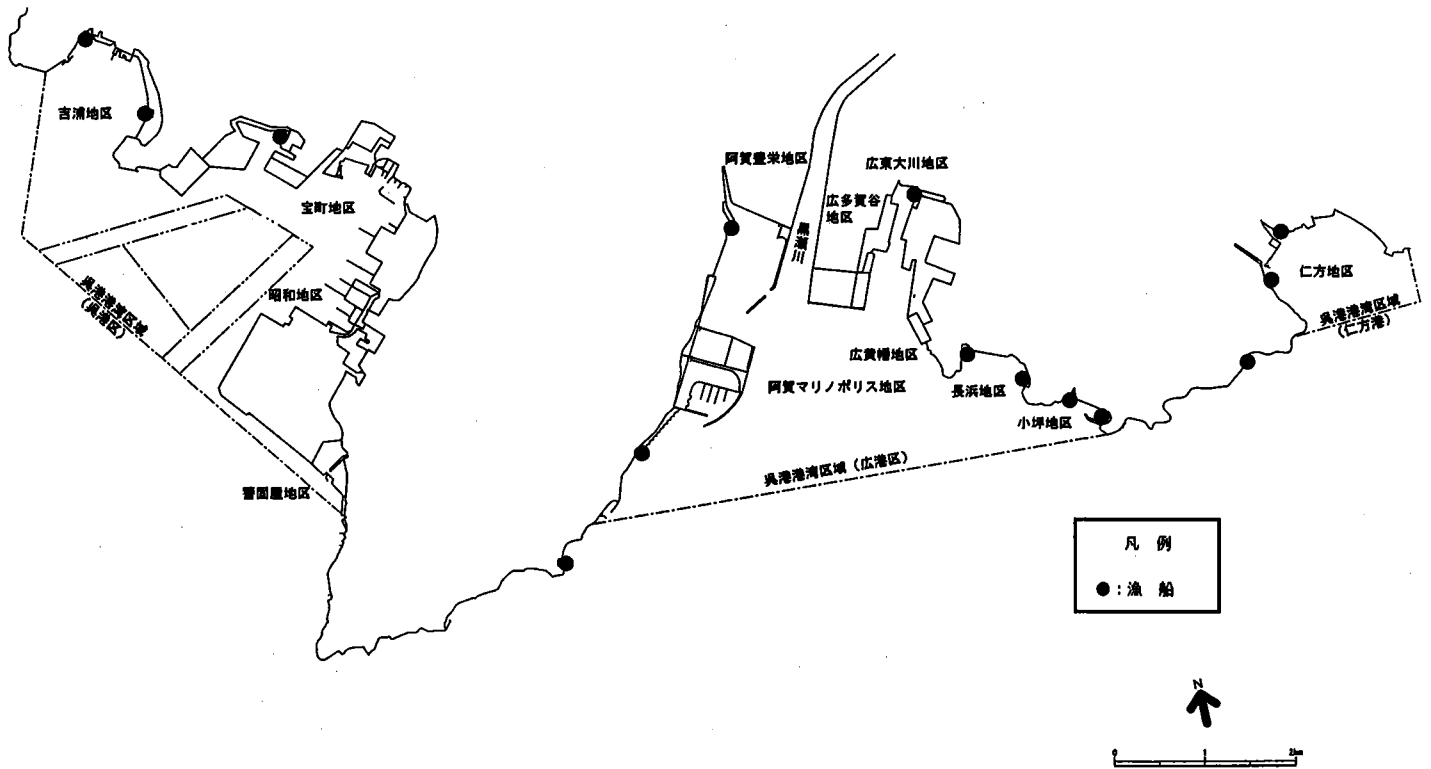
漁船の目標年次における隻数とその考え方は次のとおりである。

表Ⅱ-2-1 漁船の隻数

種 類	現 況	目標年次隻数	将来隻数の考え方
漁船等	553 (平成10年)	560	既定計画のとおり

### (2) 小型船だまり現況図

小型船だまりの現況と位置は次のとおりである。



図Ⅱ-2-1 小型船だまり現況図

### (3) 小型船だまり計画変更の必要性

[阿賀マリノポリス地区]

船だまり利用者が居住している地区から遠く、利便性が悪いため、小型船だまり計画を削除する。

[阿賀塩谷地区]

船だまり利用者の利便性の向上を図るため、小型船だまりの計画を追加する。

(4) 地区別の必要係留施設延長

地区別の小型船の将来隻数の考え方と新規に計画することが必要な延長は、次のとおりである。

表Ⅱ-2-2 地区別の将来隻数の考え方と必要係留施設延長

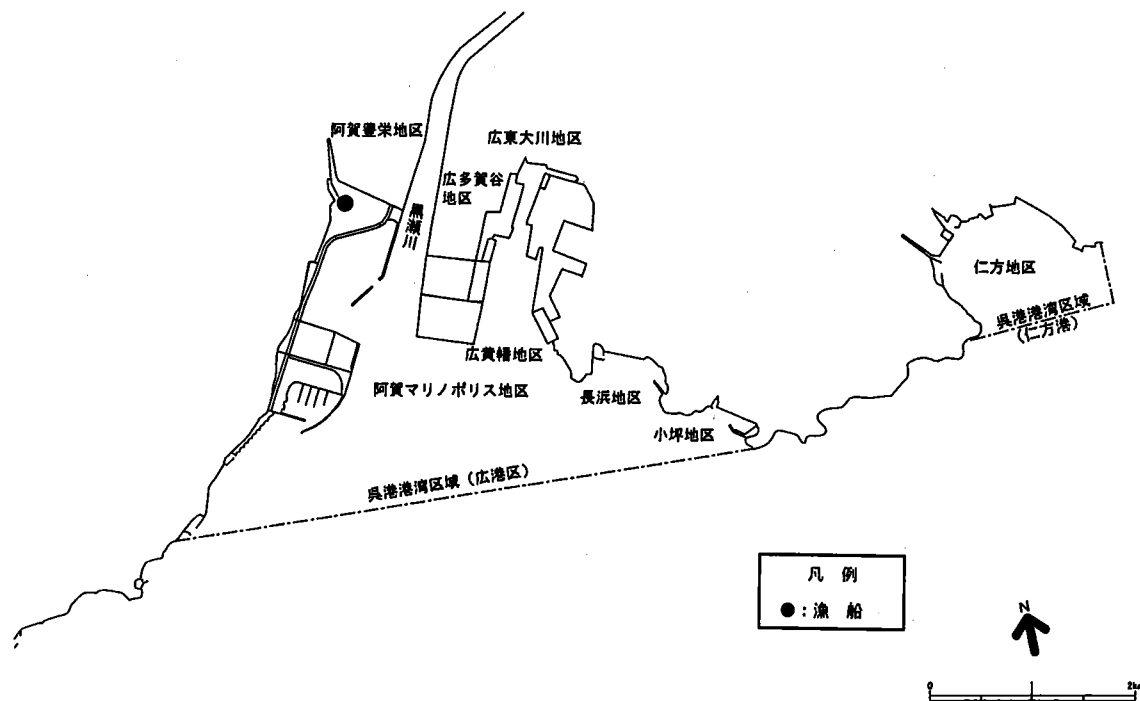
種類	地区名	目標年次 隻数	係留施設 必要延長	係留施設 既存延長	新規計画 必要延長	地区別の将来隻数の 考え方
漁船	阿賀塩谷地区	80隻	300m	—	300m	漁協ヒアリング による

(5) 新規に計画する小型船だまりの施設の規模及び配置

新規に計画する小型船だまりの施設の規模及び配置とその考え方は次のとおりである。

表Ⅱ-2-3 新規に計画する小型船だまりの施設の規模及び配置

地区名	施設名	船舶 種類	隻数	施設規模	施設の規模及び 配置の考え方
阿賀塩谷地区	阿賀塩谷第二船だまり	漁船	80	外郭施設 防波堤 120m 水域施設 泊地(-3.0m) 0.1ha 係留施設 物揚場(-3.0m) 300m ふ頭用地 0.1ha	・係留施設前面において静穏度の目標値を満足するように防波堤を配置する。 ・対象船舶の実態にあわせた計画水深とし、新規計画延長を充足する規模の物揚場を整備する。



図Ⅱ-2-2 新規に計画する小型船だまり計画位置図



(6) 静穏度の検討

① 静穏度の目標

表Ⅱ-2-4 静穏度の目標

区分	係留施設前面波高	稼働率
通常時	0.3 m以下	97.5%以上
異常時	0.5 m以下	—

② 静穏度の検討結果

表Ⅱ-2-5 静穏度の検討結果

区分	検討結果
通常時	波浪階級別発生頻度より目標は達成される
異常時	船だまり内静穏度解析の結果、目標は達成される

表Ⅱ-2-6 阿賀塩谷第二船だまり内の波高

波向	沖 波		小型船だまり内の波高(m)
	波高 (m)	周期 (s)	
SSE	1.39	4.0	0.07
S	1.50	4.1	0.07
SSW	1.33	3.7	0.05

### Ⅲ. 土地造成及び土地利用計画に関する資料

#### 1. 土地利用の区分の変更

効率的な土地利用を図るため、土地造成及び土地利用計画について表Ⅳ-1-1のとおり計画する。

表Ⅳ-1-1 土地造成及び土地利用計画 (単位：ha)

用途 地区名	ふ頭 用地	港湾関 連用地	工業 用地	交通機 能用地	緑地	レクリエーション 施設用地	合計
阿賀マリノ ポリス地区	7.6	14.0		(1.8) 5.4	3.6	18.0	(1.8) 48.6
阿賀塩谷 地区	(0.1) 1.1		2.7	(2.2) 2.8			(2.3) 6.6

注1 ( )内は土地造成を伴う土地利用計画で内数である。

注2 今回の軽易な変更に係る区域についてのみ記述した。

既定計画

(単位：ha)

用途 地区名	ふ頭 用地	港湾関 連用地	工業 用地	交通機 能用地	緑地	レクリエーション 施設用地	合計
阿賀マリノ ポリス地区	(3.9) 11.5	(1.4) 15.4		(4.2) 7.6	3.6	18.0	(9.5) 56.1
阿賀塩谷 地区	1.0		3.3				4.3

注1 ( )内は土地造成を伴う土地利用計画で内数である。

注2 今回の軽易な変更に係る区域についてのみ記述した。

#### IV. その他の資料

##### 1. 資金計画

表IV-1-1 資金計画

地区名	種別	施設区分	施設名	数量	事業費 (百万円)
阿賀マリノポリス地区	公共	係留施設	ドルフィン(-4.5m)	1基	840
阿賀塩谷地区	公共	水域施設	泊地(-3.0m)	0.1ha	1,074
		外郭施設	防波堤	120m	
			護岸(防波)	210m	
	係留施設	物揚場(-3.0m)	300m		
	合計				1,914

##### 2. 環境保全に関する検討

今回の計画変更は、既定計画の土地造成を縮小するもので、新たな負荷発生源がないことから、大気質、潮流、水質、騒音・振動、生態系、悪臭及び漁業等への影響は軽微であると判断される。

### 3. 地方港湾審議会名簿

#### 呉市地方港湾審議会委員名簿

(平成15年 2月現在)

区 分	氏 名	役 職 名
学識経験者	奥原 征一郎 寺本 定美 横山 伸也 小堀 慈久	呉商工会議所会頭 海上保安大学校教授 産業技術総合研究所中国センター所長 呉工業高等専門学校教授
港 湾 関 係 者	港湾運送業者代表 吉岡 信武 海上運送事業者代表 奥窪 忠 倉庫業者代表 大之木 伸一郎 港湾関係労働団体代表 佐々 悠太郎 水産関係者代表 折見 勝治 港湾関連事業者代表 鈴木 颯一 " 中須賀 正為 港湾関連企業代表 鈴木 等 " 水島 貞夫 " 漁 充夫	呉港運協会会長 中国旅客船協会連合会呉地区旅客船協会会長 広島県倉庫協会呉部会長 全日本海員組合中・四国地方支部長 呉漁業協同組合連絡協議会会長 呉港振興会会長 広島県内航海運組合西部呉支部副支部長 ㈱アイ・エフ・アイ マリノアイト 呉工場長 王子製紙㈱呉工場執行役員呉工場長 日新製鋼㈱呉製鉄所取締役所長
県議会の議員	多賀 五朗	広島県議会議員
市議会の議員	小田 元正 得田 正明 浜下 積 岩岡 マスエ 大本 弘之	呉市議会議員 " " " "
国の地方機関の職員 及び県の職員	藤本 保 田中 正昭 助光 正司 藤原 憲司 内田 晃亘 渡邊 義明 早野 禎祐 須野原 豊	国土交通省中国地方整備局長 呉港長（呉海上保安部長） 中国運輸局呉海事事務所長 神戸税関呉税関支署長 広島検疫所呉出張所長 神戸植物防疫所広島支所長 海上自衛隊呉地方総監部防衛部長 広島県土木建築部空港港湾局長
市の職員	川崎 初太郎	呉市助役